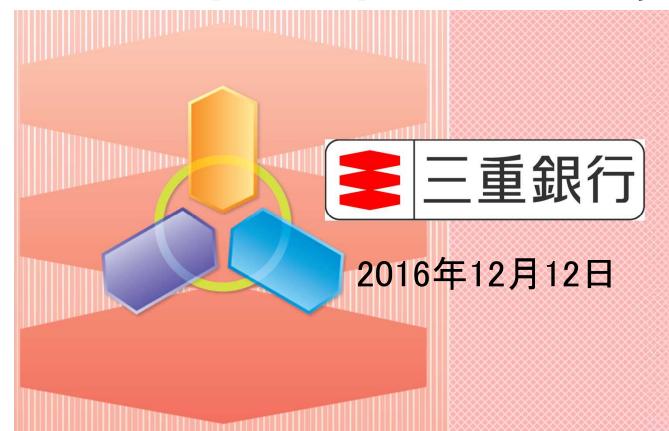
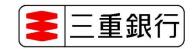
2016年9月中間期決算の状況と中期経営計画の進捗について





目 次

2016年9月中間期決算の概要

中期経営計画「成長 ~地域とともに~」の進捗について

	^	ページ		ページ
業績サマリー		2	中期経営計画「成長 〜地域とともに〜」	
通期業績予想		3	概要	13
預貸金		4	組織戦略	14
有価証券運用		6	法人戦略	15
非金利収益		7	個人戦略	16
経費		8	ソリューションの提供と地方創生	17
信用コスト		9	計数計画	18
不良債権		10		
自己資本比率		11		

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

これらの記述はリスクと不確実性を内包しており、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は経営環境に関する前提条件の変化等に伴い目標対比変化することにご留意下さい。

本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【本件に関するご照会先】

三重銀行 総合企画部 松田・石原

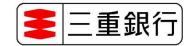
TEL 059-354-7172 FAX 059-355-8225

E-mail koho@miebank.co.jp



2016年9月中間期決算の概要

業績サマリー



■ 利回り低下による貸出金利息収入の減少などにより、コア業務純益、経常利益、当期純利益は減益

(百万円)

		(
〈単 体〉	16/9中間期 (16/上期)	前年同期比	
コア業務粗利益	10,610	▲ 97	
資金利益	8,088	▲ 195	
うち貸出金利息収入	7,056	4 40	
うち預金等利息支払(▲)	471	△ 227	
うち有価証券利息収入	1,869	▲ 57	
非金利収益 ※	2,522	97	
経費(▲)	8,938	▲ 37	
コア業務純益	1,672	▲ 133	
有価証券関係損益	183	▲ 270	
信用コスト(▲)	△ 245	△ 2	当初業績予想
経常利益	2,470	▲ 565	2,000
中間純利益	1,955	▲ 124	1,400
		(百万円)	
〈連 結〉	16/9中間期 (16/上期)	前年同期比	
経常利益	2,587	▲ 757	2,100
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,976	▲ 165	1,400

資金利益	前年同期比 ▲ 195百万円					
	ボリューム要因	利回要因	計			
貸出金	(十205億円)	(▲ 0.09p)				
	十1.1億円	▲5.5億円	▲4.4億円			
預金等	(十150億円)	(∆0.03p)				
	▲0.0億円	△2.3億円	△2.3億円			
有価証券	(十5億円)	(▲0.03p)				
	十0.0億円	▲0.6億円	▲0.6億円			

有価証券関係損益

前年同期比▲270百万円

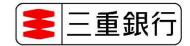
(百万円)

	債 券	前年同期比	株式等	前年同期比
売却益	157	▲ 166	233	▲ 17
売却•償還損	_	△120	▲139	▲139
償却(減損)	_	_	▲68	▲ 68
計	157	▲ 46	26	▲224

※非金利収益=コア業務粗利益 - 資金利益

(▲:損益にマイナス、△:損益にプラス)

通期業績予想



■コア業務純益、経常利益、当期純利益は減益予想

(億円)

17/3期 計画(単体)

(億円)

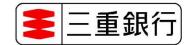
	17/3期		17/3期
〈単 体〉	業績予想 (修正後)	前期比	業績予想 (当初)
経常収益	263	▲ 11	270
コア業務純益	33	▲2	37
経常利益	39	▲12	40
当期純利益	28	▲ 7	27

(億円)

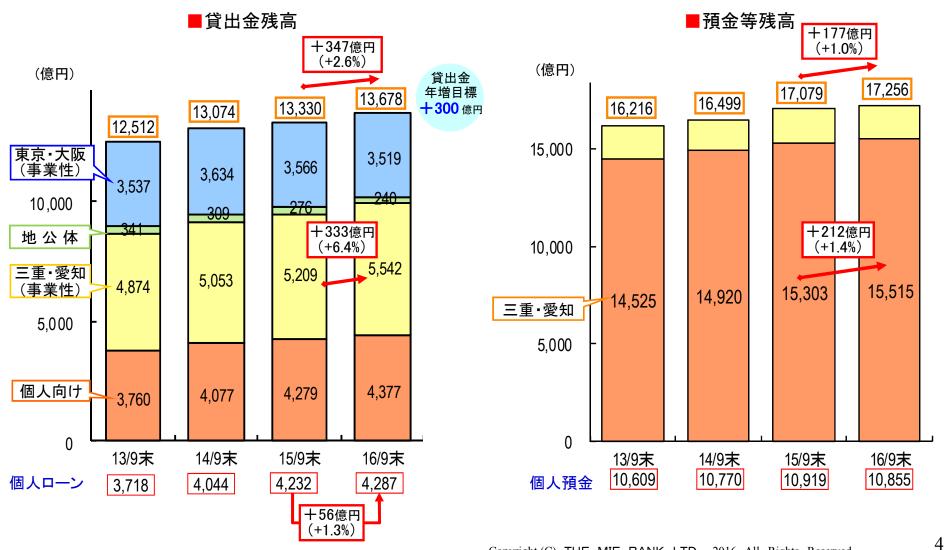
			(1)公1 1/
〈連 結〉	17/3期 業績予想 (修正後)	前期比	17/3 _期 業績予想 (当初)
経常収益	320	▲9	326
経常利益	42	▲ 15	44
当期純利益	29	▲8	29

1// 3朔 山凹(平体/			(18日)	
	17/3期 計画	前期比	16/上期	16/下期 計画
コア業務粗利益	215	2	106	109
資金利益	161	4	81	80
対貸出金利息収入	140	4 9	71	69
対預金等利息支払(▲)	8	△ 6	5	3
うち有価証券利息収入	36	A 2	19	17
非金利収益	54	6	25	29
経費(▲)	181	4	89	92
コア業務純益	33	▲ 2	17	16
有価証券関係損益	4	A 2	2	2
信用コスト(▲)	1	A 2	Δ 2	3
経常利益	39	▲ 12	25	14
当期純利益	28	A 7	20	8

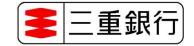
預貸金①



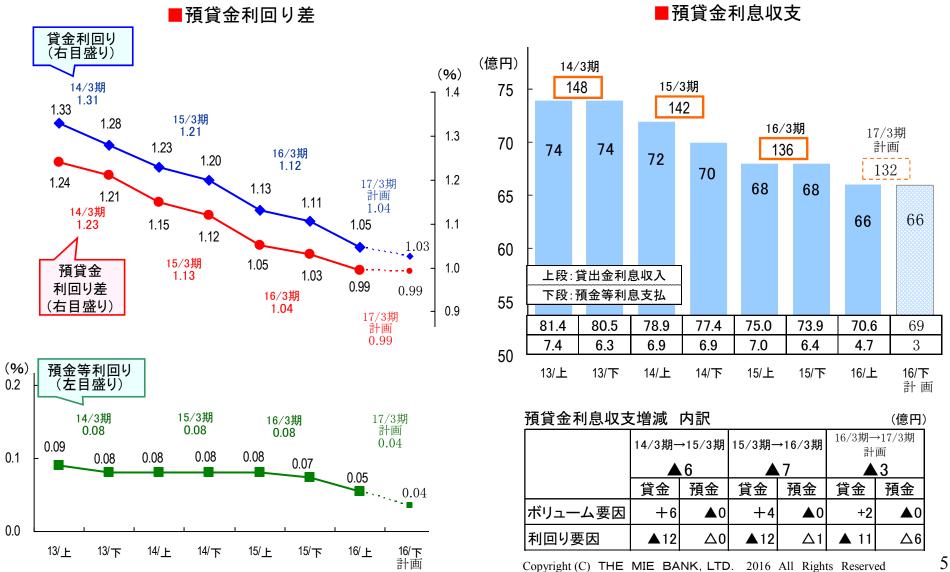
- 貸出金は、地元事業性貸金、個人ローンともに着実に増加
- 預金は、地元預金を中心に増加



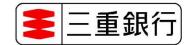
預貸金②



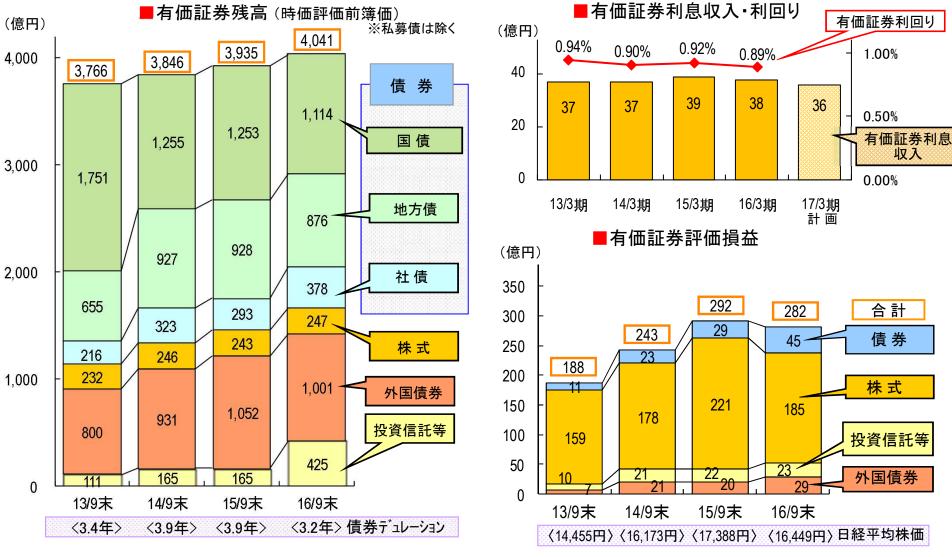
▶地元小口事業性貸金や、無担保個人ローンの増強により、貸金利回りの低下幅縮小を目指す



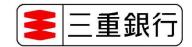
有価証券運用



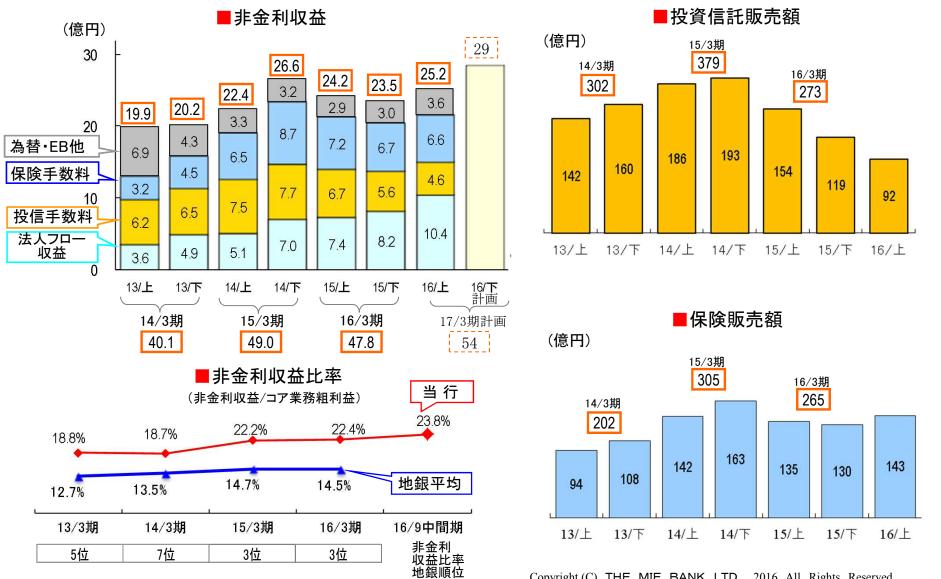
利回り確保を目指し、投資信託等を増加させてポートフォリオのリバランスを図る



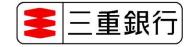
非金利収益



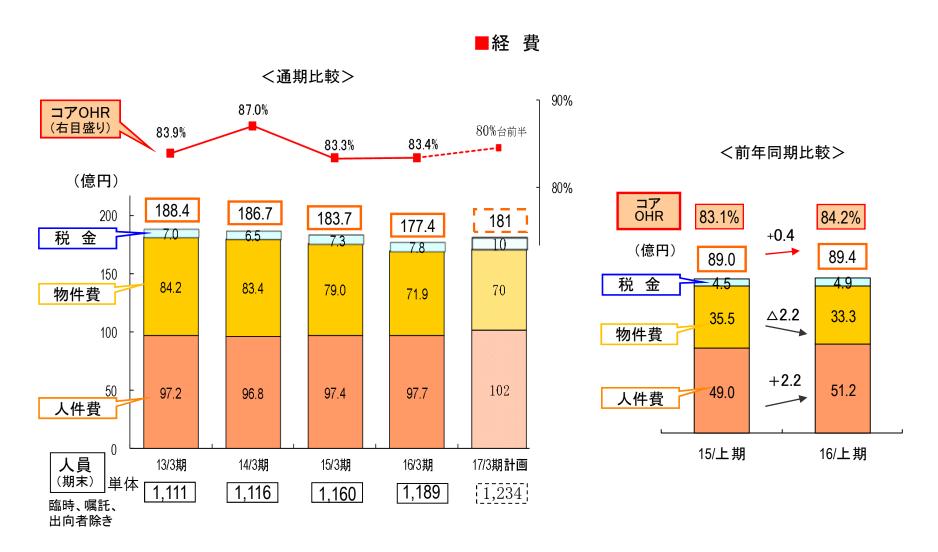
安定的に非金利収益を計上 → 16/下期は大幅な非金利収益増加を目指す



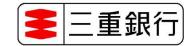
経 費



■ 17/3期は退職給付費用の増加や基幹系システムの基盤更改などにより、経費全体で増加する計画



信用コスト



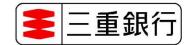
- 16/上期の信用コストは、△2億円の戻し入れ
- 17/3期の信用コストは、1億円程度を想定

■信用コスト

(百万円)

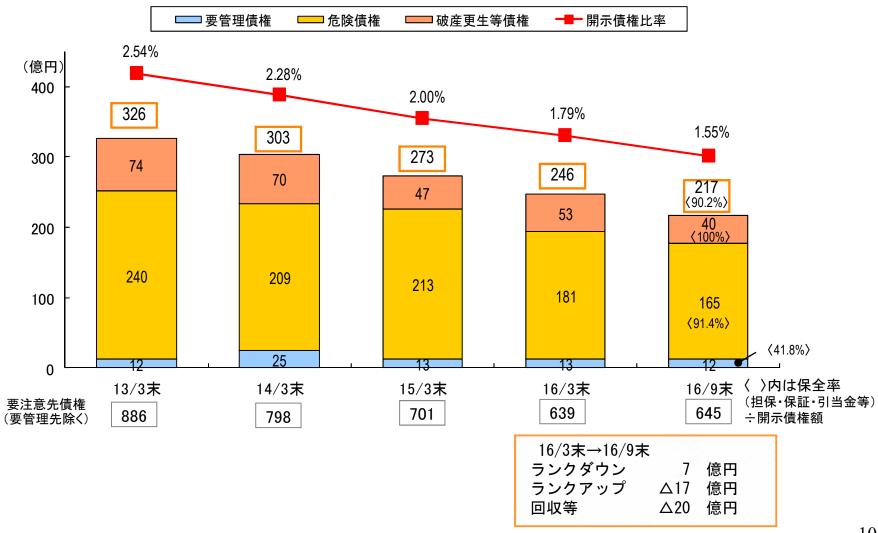
	I						(1 / 2 / 1 /
	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	16/上期	前年同期比	17/3期予想
個別貸倒引当金繰入	408	624	614	38	△ 376	△ 325	
新規発生	393	770	876	297	61	△ 34	
既存先増減•回収等	16	△ 146	△ 262	△ 259	△ 437	△ 291	
償却·債権売却等	2	44	7	0	95	95	
不良債権処理額①	411	668	621	38	△ 281	△ 231	
一般貸倒引当金繰入②	△ 141	△ 88	△ 332	△ 143	36	201	
償却債権取立益③	145	0	6	26	0	△ 26	
信用コスト④(=①+②-③)	124	580	282	△ 131	△ 245	△ 2	100
貸出金平残 (億円)⑤	11,917	12,358	12,884	13,272	13,428	205	
信用コスト率 ④/⑤	0.01%	0.05%	0.02%	△0.01%	△0.04%	+0.00pt	0.01%

不良債権

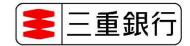


金融再生法開示債権比率は1%半ばまで低下

■金融再生法開示債権額・比率

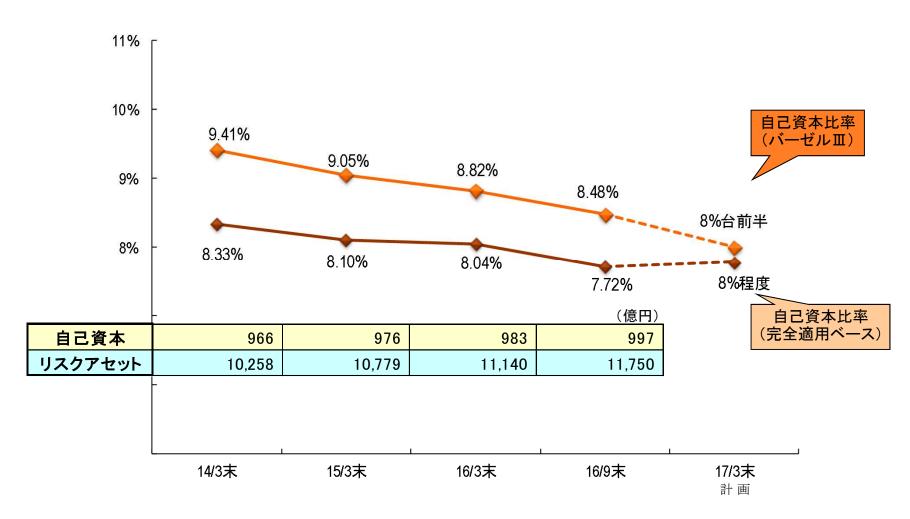


自己資本比率



■ 利益の積上げ、リスクアセットのコントロールにより、自己資本比率の維持向上を目指す

■自己資本比率等(単体)





中期経営計画 「成長~地域とともに~」 の進捗について

中期経営計画「成長 ~地域とともに~」概要



中期経営計画

成長 ~地域とともに~ 2015年4月~2018年3月

目指す姿

地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行

重点

持続的成長に 不可欠な 間口の拡大

トップライン 収益の増強

■成長戦略

ーション&ソリューション

営業力の強化

組織戦略

法人・個人一体運営店舗増加に よるきめ細やかな営業

本部相談機能強化

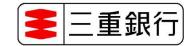
収益機会の増大

創業・新事業進出支援の強化 成長分野のサポート強化 資金調達手段の多様化への対応 事業承継・M&Aの取組強化

無担保個人ローン推進 取引間口の拡大 個人預かり資産コンサルティング営業強化

投資対象の多様化による収益機会の拡大 市場

中期経営計画「成長 ~地域とともに~」 組織戦略(間口の拡大)



■ お客さまとの接点を増やし、リレーションを深め、きめ細やかな課題解決を行う体制を構築

■営業体制の変遷

「法人営業部」を設置(2003年~)

→ミッションを明確化し、 ソリューション営業を展開

事業性取引:法人営業部 個人預かり資産:支店 個人ローン:ローンプラザ

〈成果•課題〉

- スキルの向上、ノウハウの蓄積により業容が拡大
- 事業性貸出先数が減少
- ・お客さまのニーズに総合的に 対応する必要性の増大

法人・個人一体運営店舗を 増加

→お客さまとの接点を増やし、 きめ細かく課題解決を行う 体制を構築(現在42ヵ店)

◆フルバンキング化(法人・個人一体運営店舗)の目的

・お客さまとの接点の増加

・更なるリレーション構築、悩み・課題の聴取

・きめ細やかなソリューションの提供

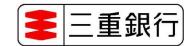
収益案件につなげる

間口拡大とトップライン収益につなげる

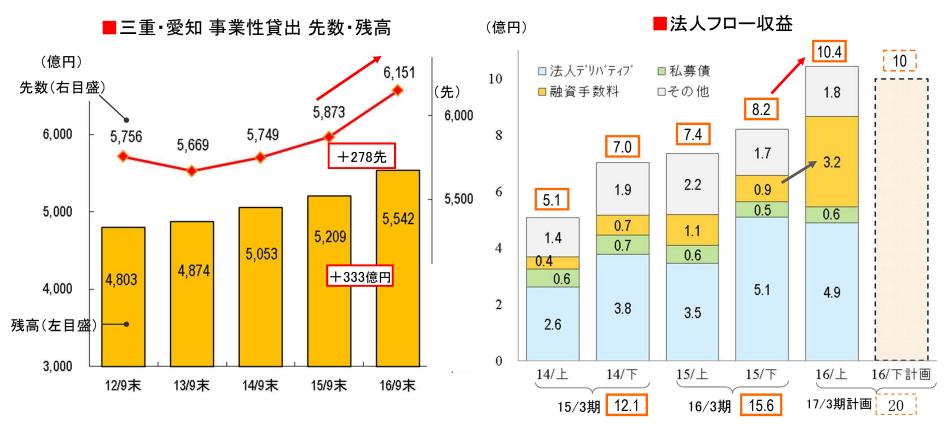
実力の向上

全支店で法人対応をできる体制 (フルバンキング化)を18/3末までに構築

中期経営計画「成長~地域とともに~」 法人戦略(トップライン収益の増強)



- 地元事業性貸出の先数、残高は着実に増加
- 法人ソリューション営業部を立ち上げ、多様な資金調達手段のサポートを強化



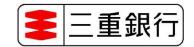
■地域別事業性貸金利回り(16/9月・月中)

三重	愛知	東京	大 阪	全体
1.13%	1.01%	0.63%	0.80%	0.93%

■法人ソリューション営業部の設置

ストラクチャードファイナンス(プロジェクトファイナンス等のノンリコースローン他)等に特化する新組織を設置

中期経営計画「成長 ~地域とともに~」 個人戦略



- 無担保個人ローンを住宅ローンと並ぶ柱として増強
- 職員の提案能力向上と提案ツールの充実両面からコンサルティング能力を向上させ、預かり資産を増強

2.362

個人ローンの推進

■個人ローン残高

13/9末 14/9末 15/9末 16/9末

1.950

個人ローン 56 3.718 4.044 4,232 4.287 住宅ローン※ 3.667 3.992 4.172 4.209 37 うち三重 36 1.797 1.833 1.696 1.755 うち愛知

無担保個人ローン※ 53 65 86 21

2.216

2.358

※無担保の住宅・リフォームローンを重複計上

無担保 個人ローン 年増目標 +25 億円

(億円)

前年比

■無担保個人ローン 強化策

・プロモーションの強化

・商品ラインアップの拡充

·キャンペーンの拡充

・商品内容の改定

■無担保個人ローン申込件数、取組金額

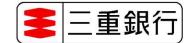
	14/上期	15/上期	16/上期
申込件数(件)	1,183	2,603	4,338
取組金額(億円)	9	18	24

預かり資産の増強

「iPad」を活用した投信情報提供の機能強化 ···顧客の最新の投信保有情報を提供できる新システムの運用 保険コンサルティング営業の強化・・・資産承継対策や保障ニーズ掘り起こしの為、保険会社からの人材受入や研修強化 フルバンキング化による個人間口拡大 ・・・効率的な渉外活動による間口拡大およびオーナー取引の強化 ロビーコンシェルジュの配置・・・店頭セールス(預かり資産、個人ローン等)に携わるスペシャリストとして選抜(現在20ヵ店)

中期経営計画「成長 ~地域とともに~」

ソリューションの提供と地方創生



- 取引先のライフステージに応じたソリューションを提供し、結果として地方創生に貢献
- 資金調達手段の多様化に対し、高度な金融サービスにも対応
 - ■ライフステージ等に応じたソリューションと地方創生取組事例

創業·新事業開拓		成 長	経営改善·事業承継		
創業・新事業進出支援の強化	成長分野への	サポート強化	資金調達手段多	B様化への対応	事業承継・M&Aの取組強化
ビジネスプランコンテスト	アグリ・6次産業化	航空·宇宙	ABL	PFI, PPP	次世代経営者育成塾
	国際ビジネス	環境	ストラクチャート フ [°] ロシ゛ェクト		LBO・MBOファイナンス
	医療•介護	医療機器	クラウト、ファンティン	グ(小口投資)	

みえぎんビジネスプラン コンテストの実施

創業・新事業展開のビジネスプランを募集。優秀プランを表彰し、さらに事業化実現をサポート。2015年度は36件の応募のうち、6件表彰し、6件の事業化サポートを開始。



6次産業化支援

三重県から委託を受け「三重県 6次産業化サポートセンター」を 三重銀総研内に設置。三重県 内の総合相談窓口として、6次 産業化プランナーによる個別相 談や実践研修会等を実施。



航空宇宙産業への 進出支援

三重銀総研と連携し、航空宇宙 産業への進出を支援。受注意 欲をもつ中小企業の技術力や 参入意欲を個別に評価し、適合 性の高い発注企業へ紹介。

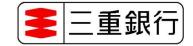


みえぎん次世代経営者 育成塾の開講

地元中小企業の次世代経営 を担う若手経営者を対象に、 実践的知識やスキル習得の ほか、人脈形成の場として活 用可能な経営塾を開講。

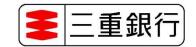


中期経営計画「成長~地域とともに~」計数計画



- 収益性、健全性を兼ね備えた水準として、5項目(ROE、自己資本比率(完全適用ベース)、コア業務純益、 地元貸出金残高、個人預かり資産残高)について中期経営計画目標を設定
 - ■中期経営計画(2015年4月~2018年3月) 計数目標

	2015年 3月期 (スタート時)	2016年9月 中間期	2017年3月期 計画	2018年3月期 計画 (最終年度)	
ROE (自己資本利益率)	2.82%	3.42%	2%台後半	3%以上	→安定的に 5% を上回る 水準を目指す
自己資本比率 (完全適用ベース)	8.10%	7.72%	8%程度	8%台	
コア業務純益	37億円	17億円	33億円	50億円	
地元(三重·愛知) 貸出金末残	9,627億円	10,142億円	10,200億円	10,900億円	
個人預かり 資産末残	14,252億円	14,402億円	14,640億円	16,350億円	



地域とともにみなさまとともに

